

2022年12月期 決算説明資料

2023年2月24日



決算概要

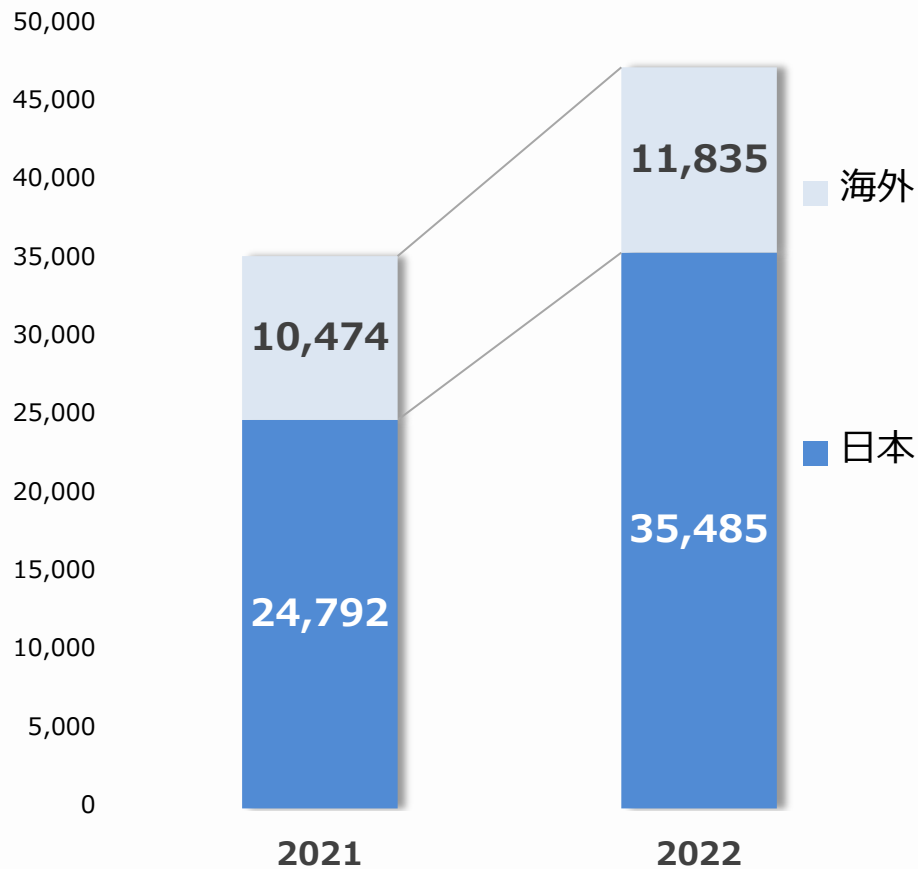
連結実績

(百万円)

	2021	2022	対前年 増減率	2022修正予想 (10月28日)	対修正予想 乖離率
売上高	35,266	47,320	34.2%	48,500	-2.4%
営業利益	3,808	6,680	75.4%	6,670	0.2%
経常利益	3,922	6,874	75.3%	7,010	-1.9%
親会社株主帰属 当期純利益	2,783	4,651	67.2%	4,800	-3.1%

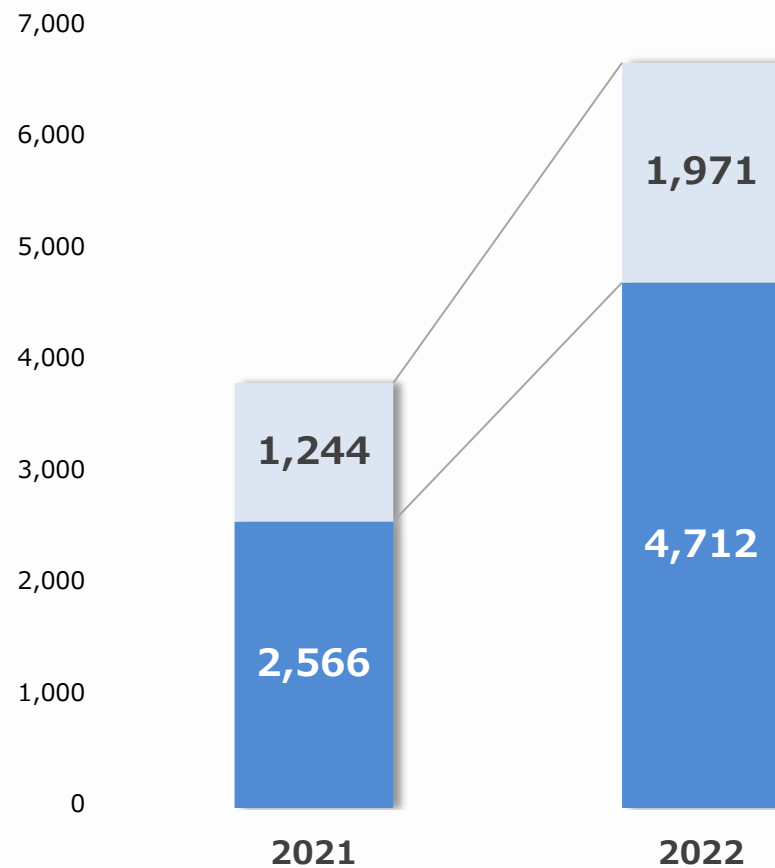
セグメント別売上高・営業利益

売上高



営業利益

(百万円)

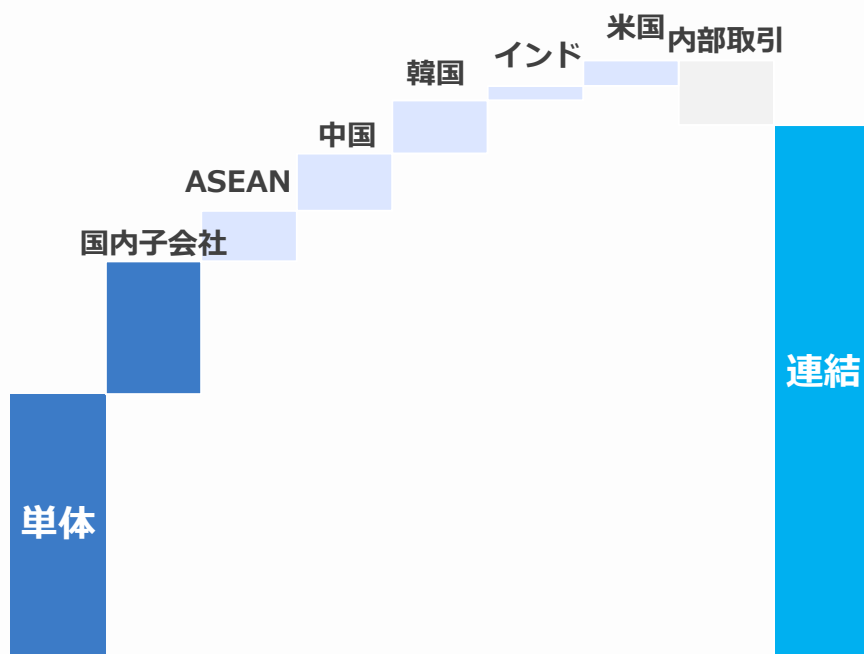


* 内部取引調整後

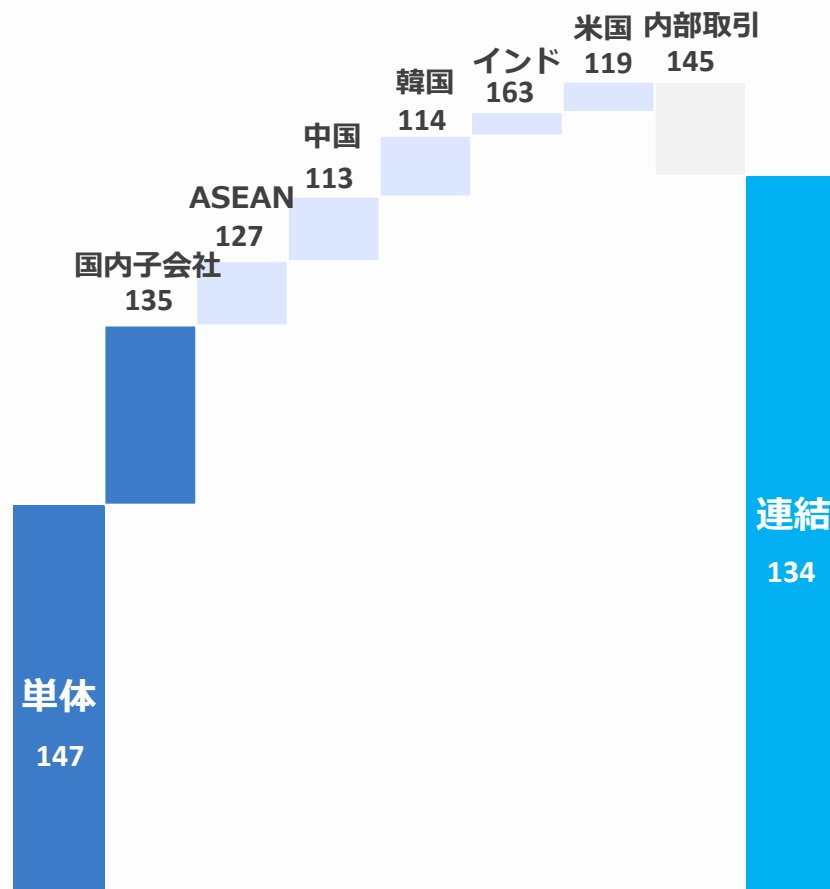
当社グループのエリア別売上増加状況

* 2021年の各地域の売上高を100とする

2021



2022



* 単純合算

* ASEAN: シンガポール・タイ・インドネシア

グループ業績ハイライト

単体

運賃や各種作業料の上昇に伴う当社売値の引上げに加え、ドル建てである運賃を顧客には円貨で請求するために金額が増大し、増収増益。

国内子会社

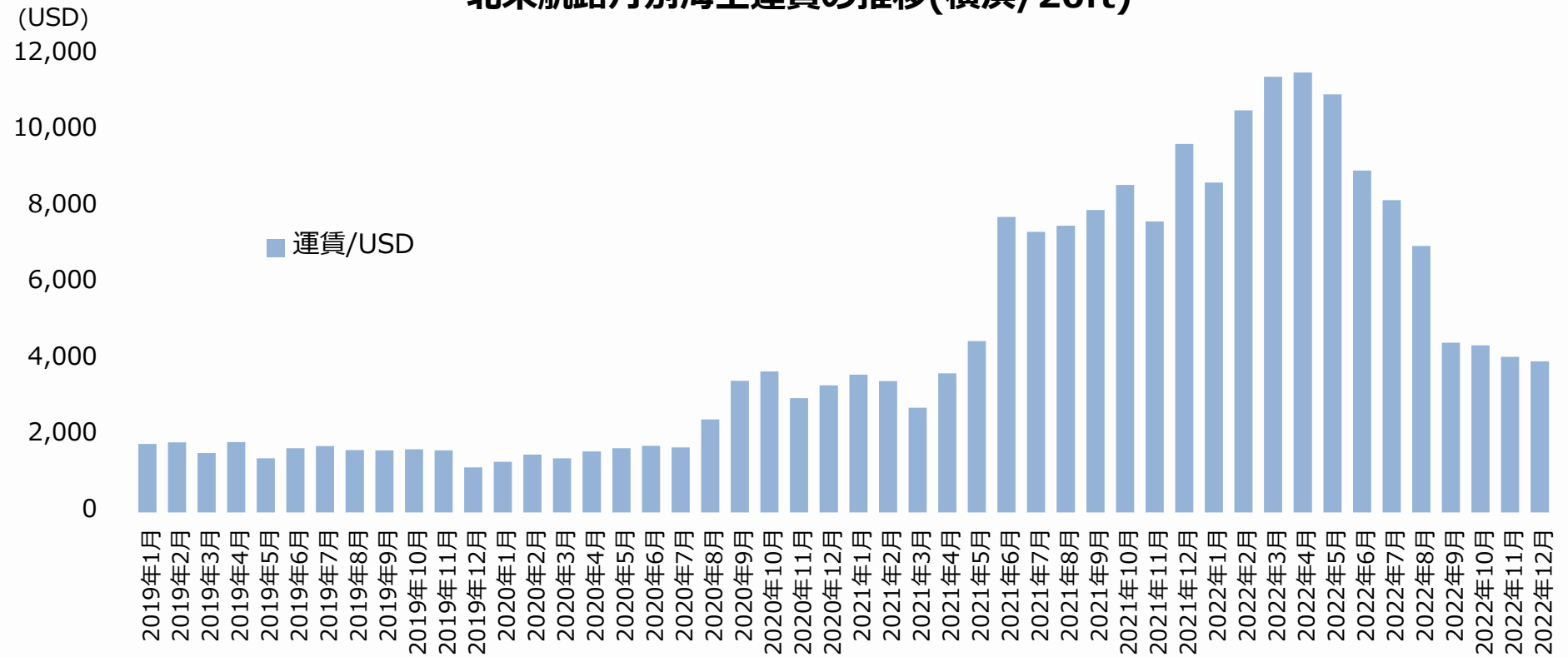
<ユーシーアイ>
航空輸送案件の増加と大口設備の輸入案件獲得等により増収増益。

<フライングフィッシュ>
食品輸入のみならず積極的な新規取引拡大等により増収増益。

海外子会社

日本発着以外のサービスの強化やフォワーディング案件の順調な取込みなどにより増収増益。

北米航路月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2023年1月25日

(USD)

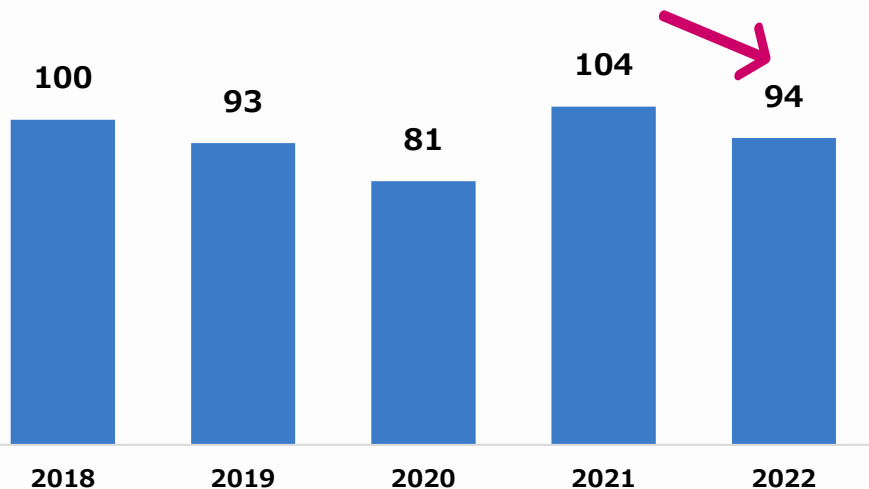
年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	20ft	3,620	3,450	2,750	3,650	4,500	7,760	7,370	7,530	7,940	8,600	7,640	9,680
	40ft	5,100	4,850	4,350	4,910	5,960	9,840	8,890	9,080	9,700	10,240	9,640	11,520
2022年	20ft	8,660	10,560	11,440	11,550	10,980	8,980	8,200	7,000	4,460	4,390	4,090	3,970
	40ft	10,940	12,520	14,380	14,320	13,520	11,510	10,440	9,090	6,650	6,190	5,660	5,500

* (公)日本海事センター「コンテナ運賃動向」資料を基に当社にて作成

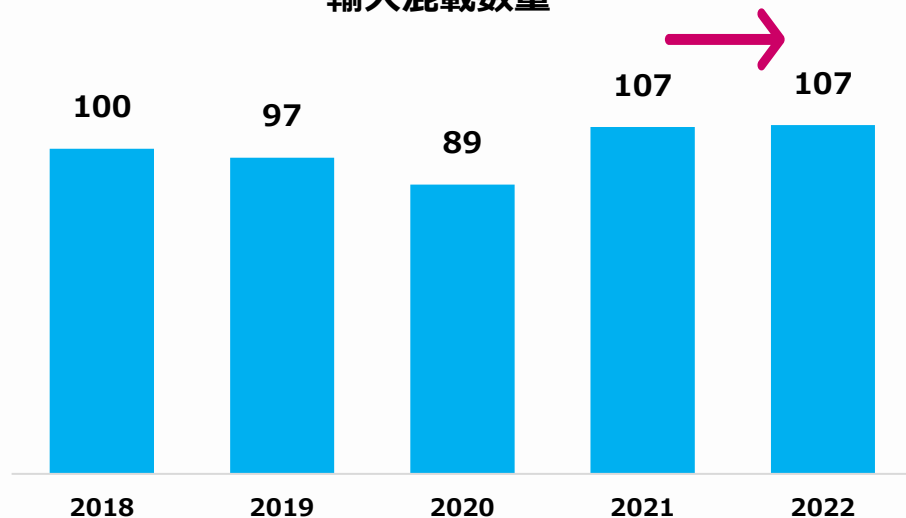
単体混載売上数量・単価推移

* 2018年を100とする

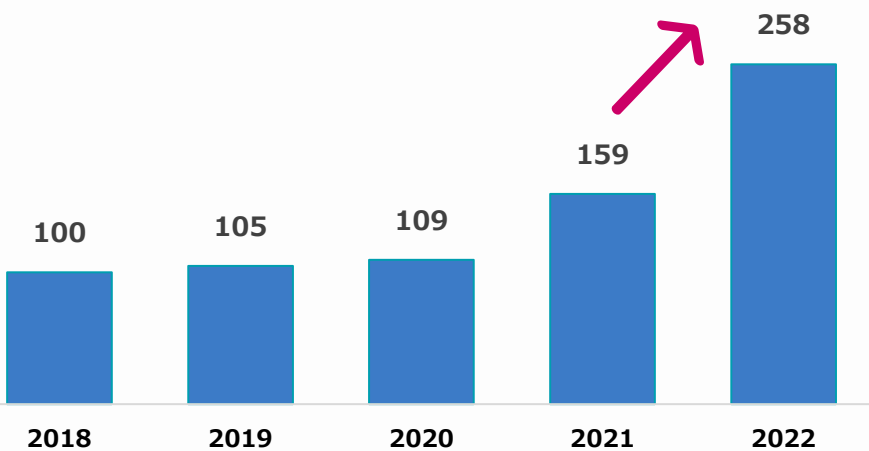
輸出混載数量



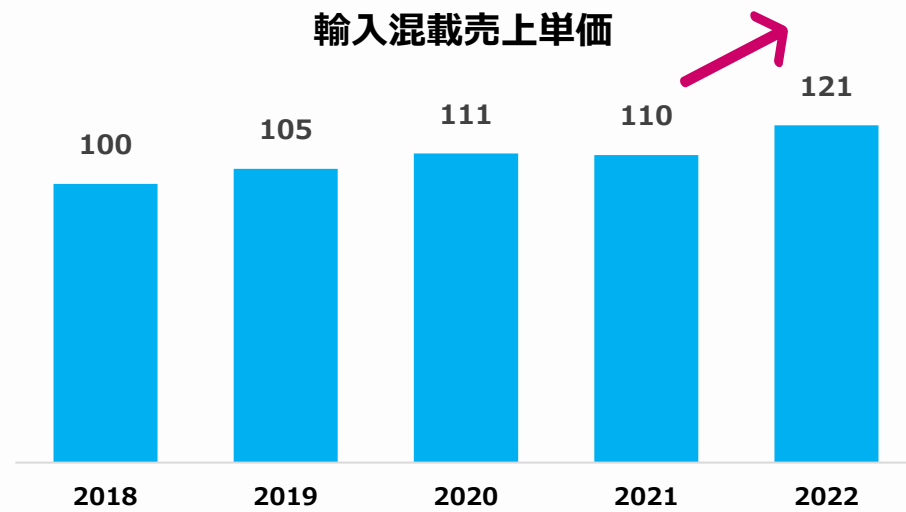
輸入混載数量



輸出混載売上単価



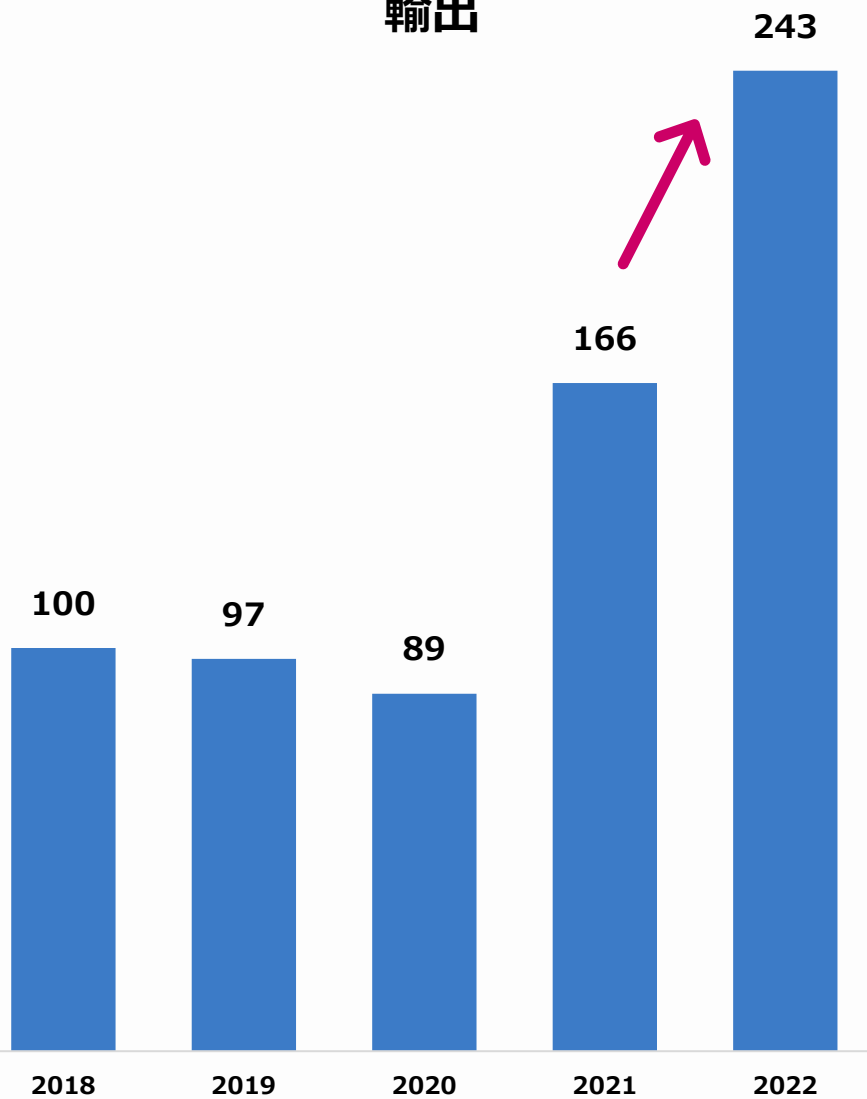
輸入混載売上単価



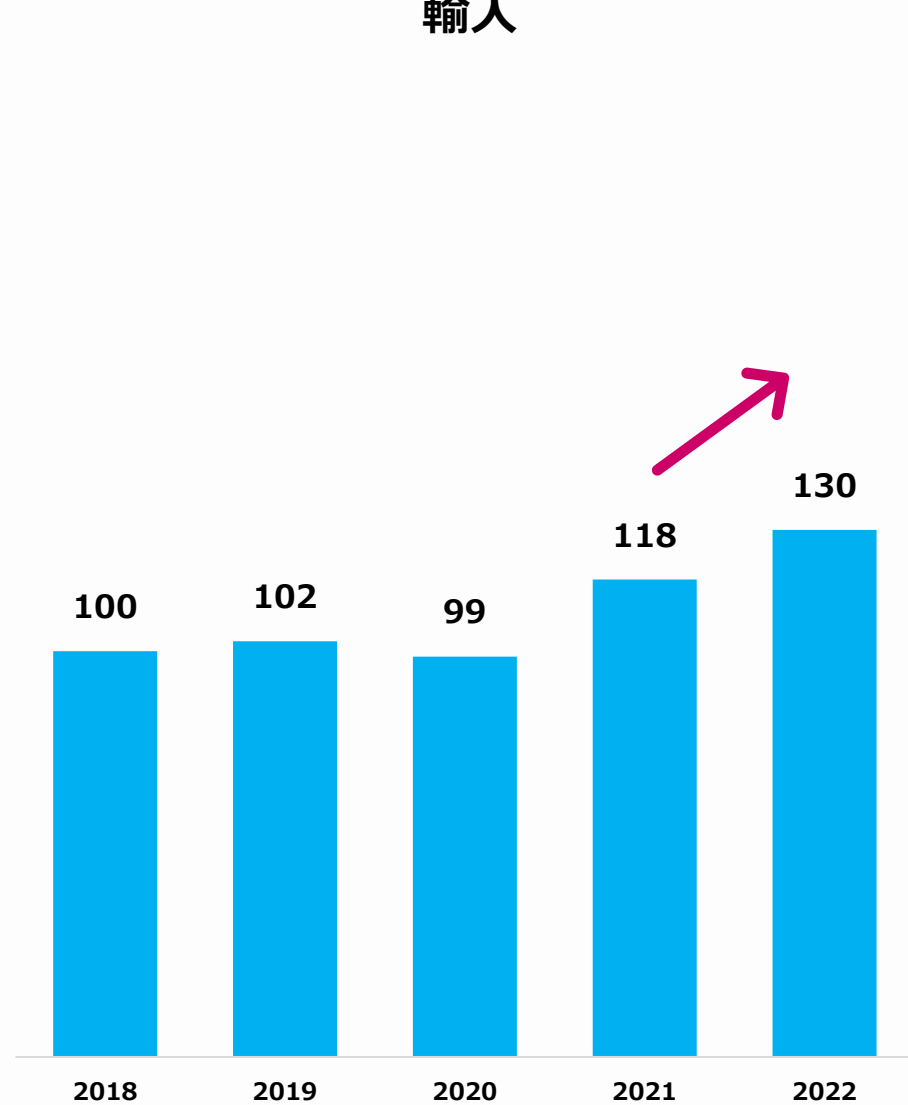
単体混載売上高推移

* 2018年を100とする

輸出



輸入



連結売上高と営業利益の推移

売上高

海上運賃の高騰による
影響が大きい

営業利益

(百万円)

70,000

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

(百万円)

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

<主な変動要因>

流動資産
 ・現金及び預金 +5,616
 ・売掛金 ▲428

固定資産
 ・有形固定資産 +159
 ・投資その他の資産 +43

総資産額 22,133 (+5,381)

流動資産 18,194 (+5,199)	流動負債 3,795 (+386)
	固定負債 828 (+184)
固定資産 3,939 (+181)	純資産 17,510 (+4,809)
自己資本比率 75.2%	

<主な変動要因>

流動負債
 ・買掛金 ▲221
 ・未払法人税等 +634

固定負債
 ・退職給付に掛かる負債 +49
 ・その他 +4

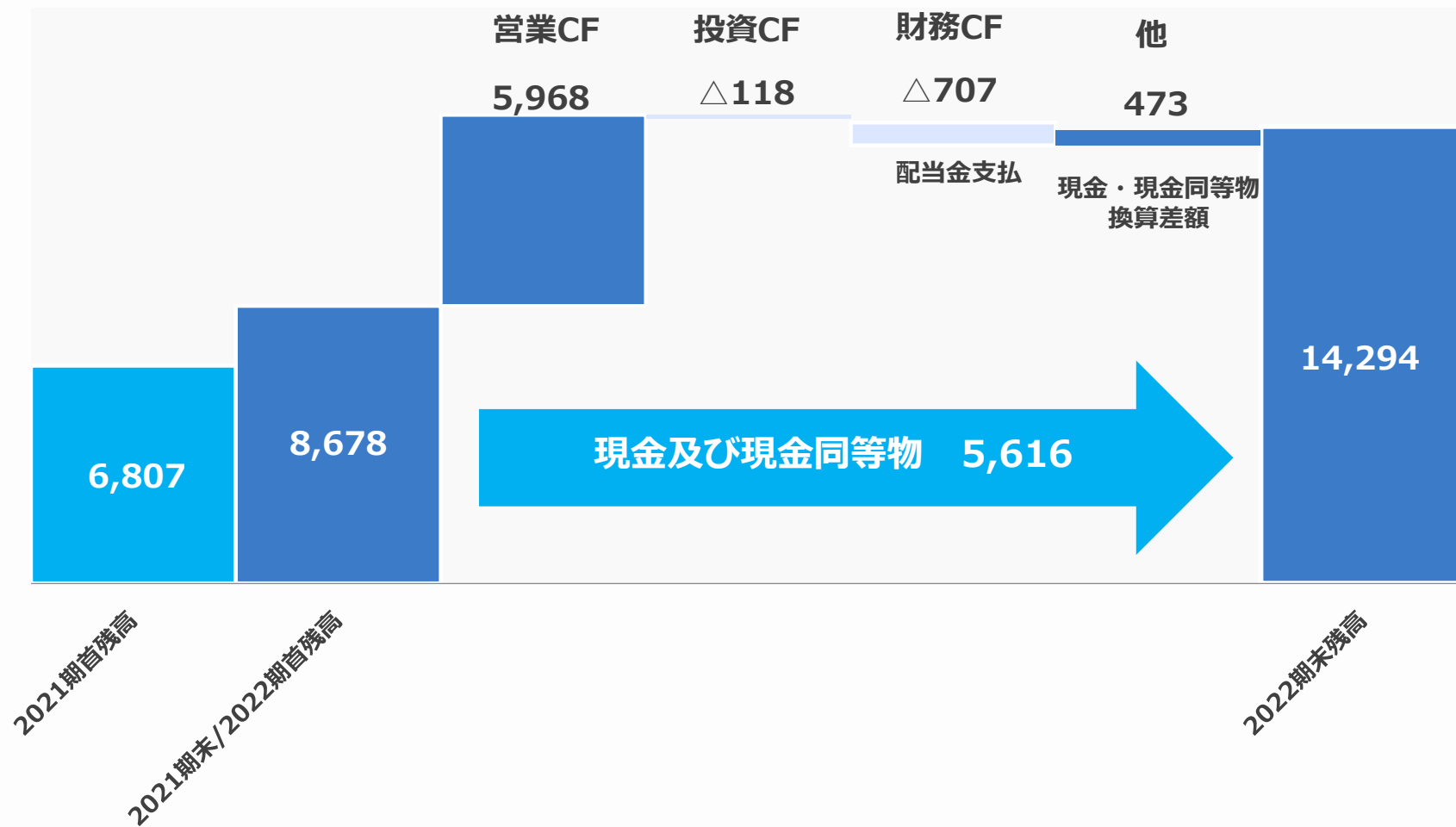
純資産
 ・利益剰余金 +4,013
 ・為替換算調整勘定 +613

() 内は前期末比増減

連結キャッシュフロー計算書の概要

2022

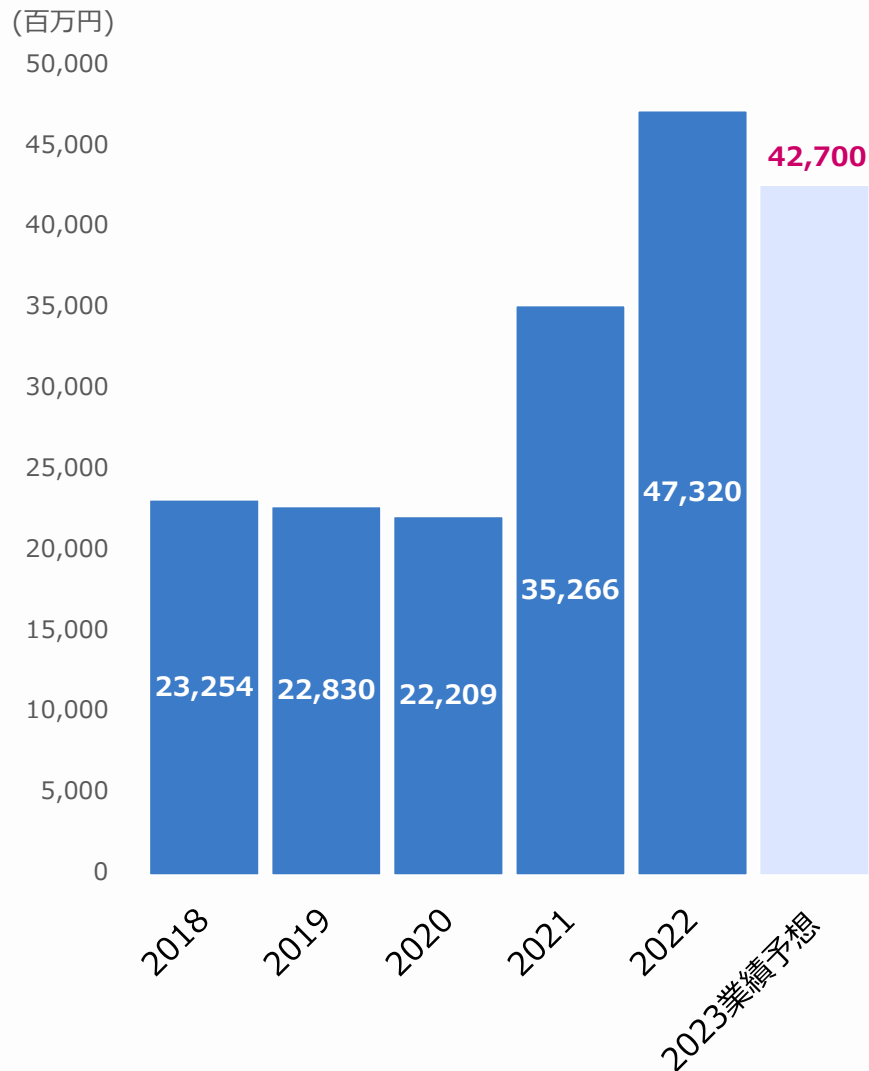
(百万円)



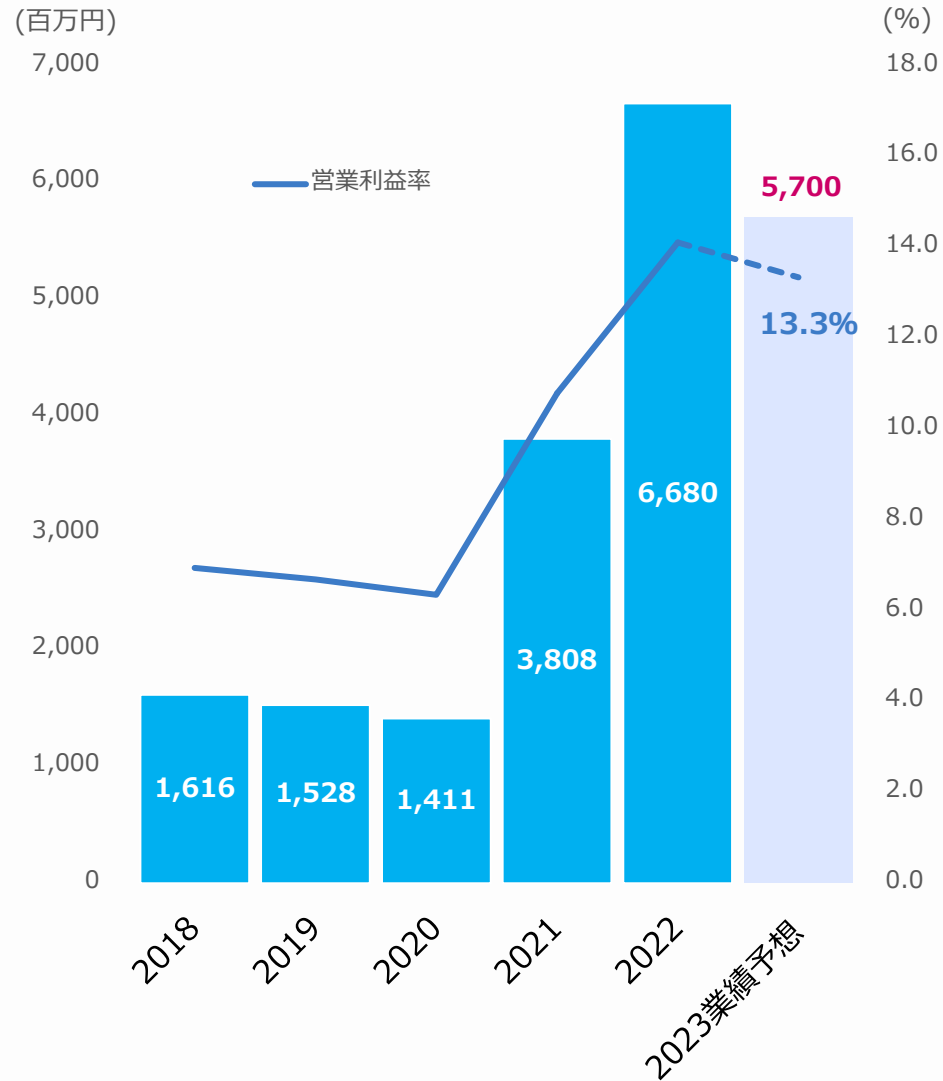
今期業績予想

連結売上高・営業利益業績予想

売上高



営業利益



中期経営計画

第4次中期経営計画（2020年~2022年）

重要経営指標

	2022年目標	2022年実績
売上高	300億円達成	473億円
営業利益率	7.0%	14.1%
ROE	14.0%	32.5%

第5次中期経営計画（2023年～2027年） *1

当社グループが目指すもの

国際物流における最高のソリューションプロバイダーでありたい！

基本方針

- ・ 本業である混載の国内シェアトップ維持拡大を図りつつ「第二の本業」としてフォワーディングを徹底的に拡大し、真の国際総合フレイトフォワードナーを目指す
- ・ 2027年にグループ売上高700億円、当期純利益 50億円を目指す

* 2

*1 中長期的視点で経営する目的で5か年で設定

*2 親会社株主に帰属する当期純利益

中期経営計画「施策」

施策

1) 国内

<混載事業>

事業ノウハウやネットワークを活かし業界地位を堅持、
安定的収益確保を実現

<フォワーディング事業>

グループ間の最適な組織編成により売上と利益の増加を目指す



2) 海外

<代理店>

さらなる関係強化を図るとともに再編を視野に入れた
効率的な運用を行う

<新規拠点設立>

今後成長が期待できるエリアでの現地法人や駐在員事務所の設立を検討

<既存拠点の業務拡大>

現地スタッフによる地場企業向けの輸出営業のインフラを構築、
日本以外への輸出獲得を目指す



中期経営計画「投資戦略」

投資戦略

1) M&A等

M&A、資本提携、業務提携により既存事業の規模拡大やシナジー効果を生み出す



2) 人材・教育

国内外ともに新規事業、営業スタッフ拡充等の人材投資や社員能力向上のための教育研修投資を行う

3) DX

営業支援、業務効率化、顧客サービス充実のため一層のDX推進を図る



4) アセット事業

海外を中心に倉庫等のアセットを取得、事業領域の拡大を図る

5) ESG・SDGs

CGコードに則って対応し、環境分野については、温室効果ガスの排出量削減対策を講じる

第5次中期経営計画 数値目標

2027

売上高

700億円

当期純利益*

50億円

第5次中計*
最終年度

2022

売上高

473億円

当期純利益*

46億円

* 親会社株主に帰属する当期純利益

その他

- SDGsへの取組み
- 配当金の実績と予想
- 当社株価の推移

SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと
SDGsと行動規範を関連付け
グループ経営を推進しております

(経営理念・行動規範 2006年7月制定)



内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協調の精神を持って行動します

当社
管理職以上の女性比率
18.5%

- ・女性活躍推進
- ・シニア雇用
- ・育児・介護休業制度



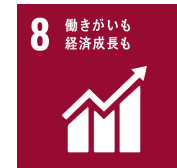
私たちは会社の仕事を通じて社会への貢献を果たします

- ・地域社会の発展・活性化・次世代育成
- ・環境負荷低減
- ・温室効果ガス排出量の算出



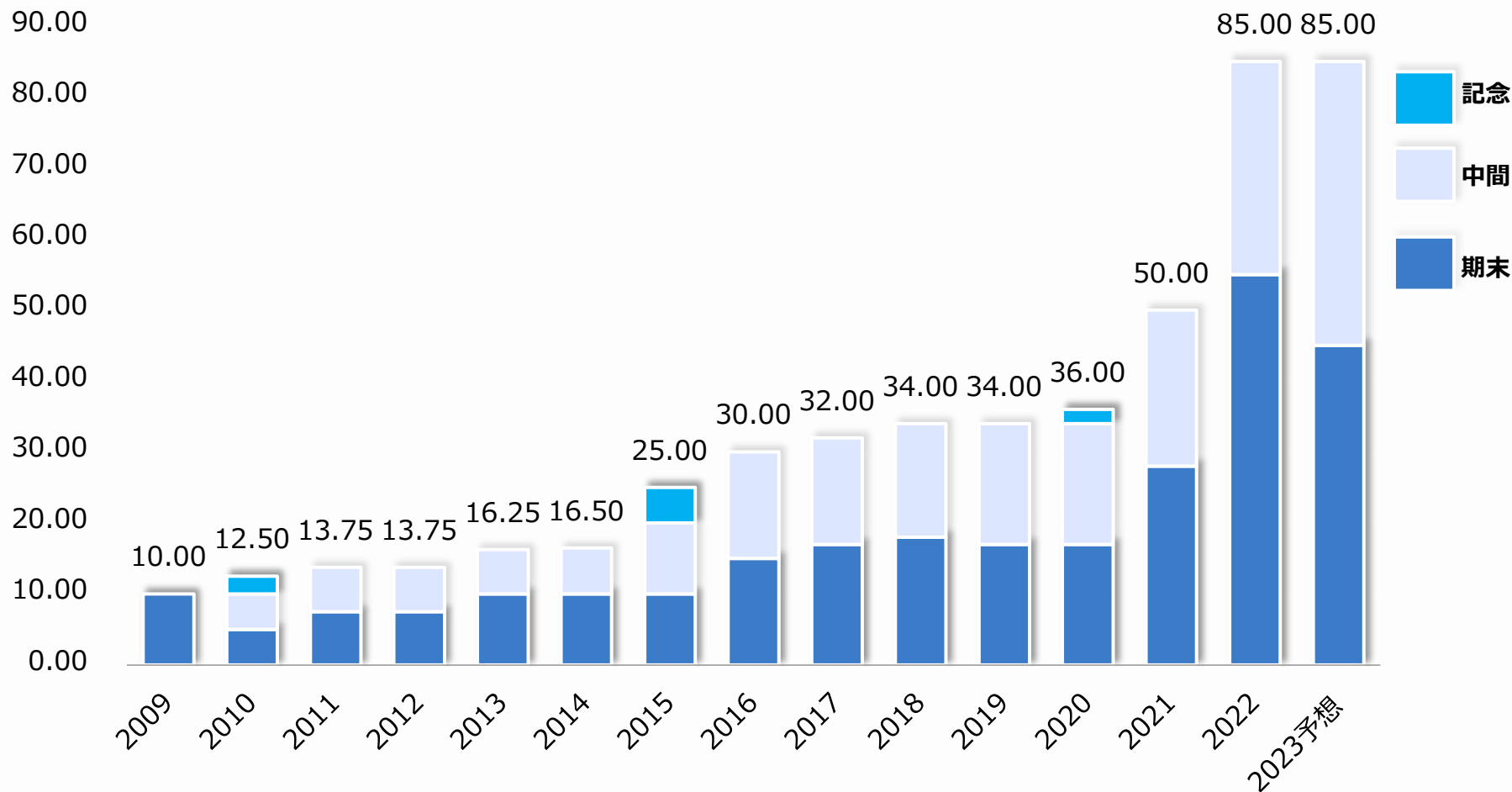
私たちはたゆまぬ努力により自己の成長を図り、社会を発展させてゆきます

- ・社会・経済の発展に貢献



配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

お問合せ先
取締役 IR担当 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。